



東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター主催

第6回 復職のためのハンズオン実習

- ★腹痛の初期診断「上部消化管内視鏡&エコー」
- ★フィジカルアセスメント ～呼吸器/循環器編～
- ★『どう診る「認知症診療の極意」』～カフェ形式で～



開催報告 & アンケート集計結果



日時:2017年3月26日(日) 9:30～16:30
場所:東京女子医科大学 本部1階 スキルスラボ I
協力:医療人統合教育学習センター



開催報告

2017年3月26日(日)に「第6回復職のためのハンズオン実習」を開催いたしました。スキルアップや復職を目指す女性医師を対象として実施し、医療人統合教育学習センターの全面協力の下、多岐にわたる内容で行いました。

項目	講師	使用シミュレータ
腹部:消化器系 上部消化管内視鏡 腹部超音波検査と腹痛	消化器内視鏡科 中村 真一 教授	気管支・消化器内視鏡 シミュレータ「Accutouch」 心臓・腹部超音波検査 トレーニングシミュレータ「VIMEDIX」
胸部:循環器・呼吸器系 フィジカルアセスメント	東医療センター 内科 小川 哲也 准教授	心臓音診察シミュレータ「イチロー」 呼吸音聴診シミュレータ「ラング」
頭部:神経系 認知症	成人医学センター 松村 美由起 講師	シミュレータを使用せず 「カフェ形式」で開催



一般内科外来ではメディカルインタビューおよび全身の診察が重要です。今回は、頭部、胸部、腹部と3つの領域での診察法と、外来で実施できる検査をシミュレータで実習しました。

腹部消化器系では腹痛に関して症例を用いた臨床推論、注意すべき疾患のCT画像の読影法を講義後、シミュレータを用いて超音波検査と上部消化管内視鏡検査を行いました。



胸部では、聴診の講義の後、シミュレータで実習を行い、典型的な疾患の病歴、聴診所見、検査結果から鑑別診断する試験を行いました。



脳神経系は今話題の認知症の最新の診断法、治療法をカフェ形式で語り合いながら患者さんや家族への関わり方を学びました。



経歴、年齢など関係なく真剣に講義に聴き入り、シミュレータ実習を行っていました。広範囲な領域でしたが、経験豊かな各講師からの言葉を聞き漏らすまいとノートを取る姿、聴診器を持って真剣に聴診する姿からは、患者さんに寄り添った医療を実践している姿が想像できました。

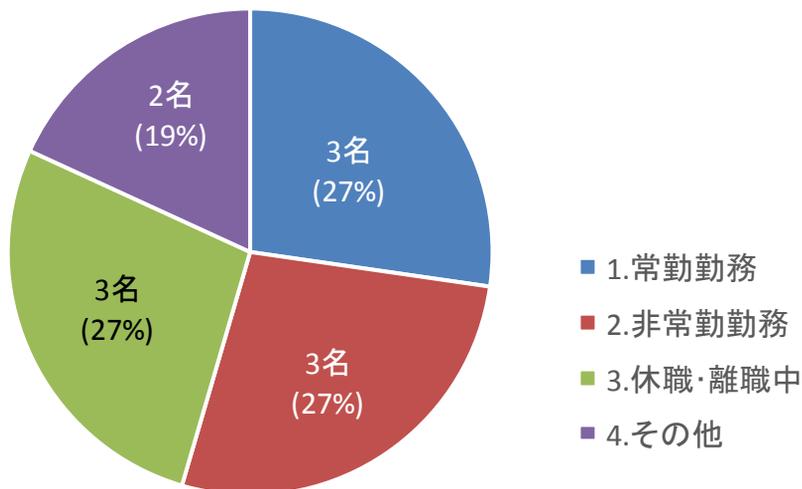


アンケート結果

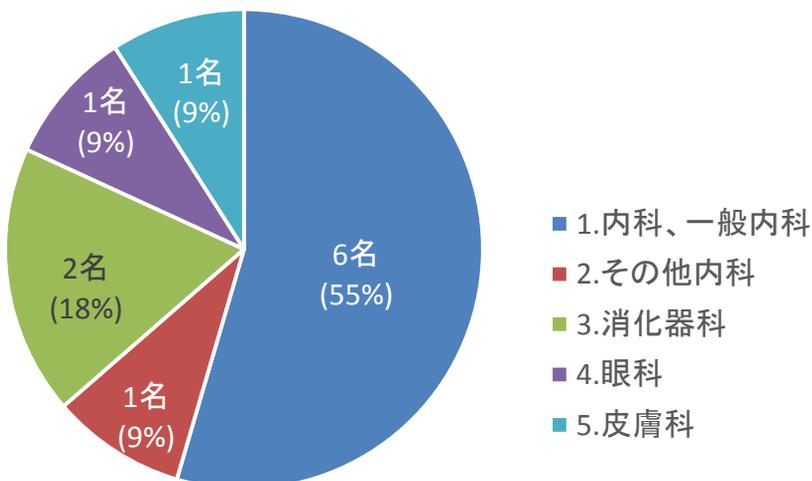
実習参加者の皆さまを対象に行ったアンケート結果です。

実習参加者:12名
回答者:11名
回収率:92%

Q.現在の勤務状況を教えてください。 n=11

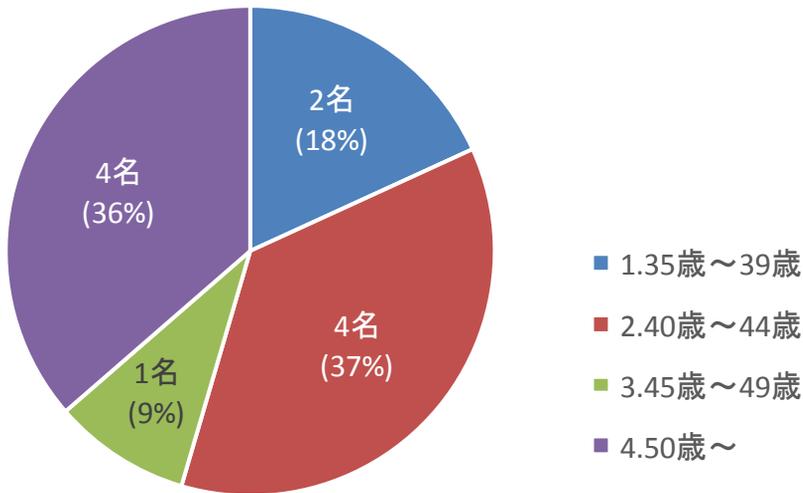


Q.ご専門の診療科(休職・離職中の方は
お休みされる前の診療科)を教えてください。 n=11

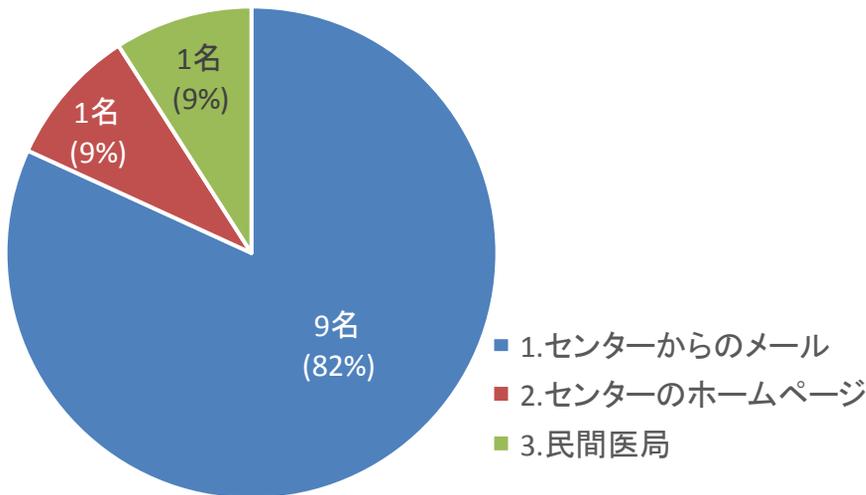


※2.その他内科:神経内科1名

Q.年齢をお選びください。 n=11



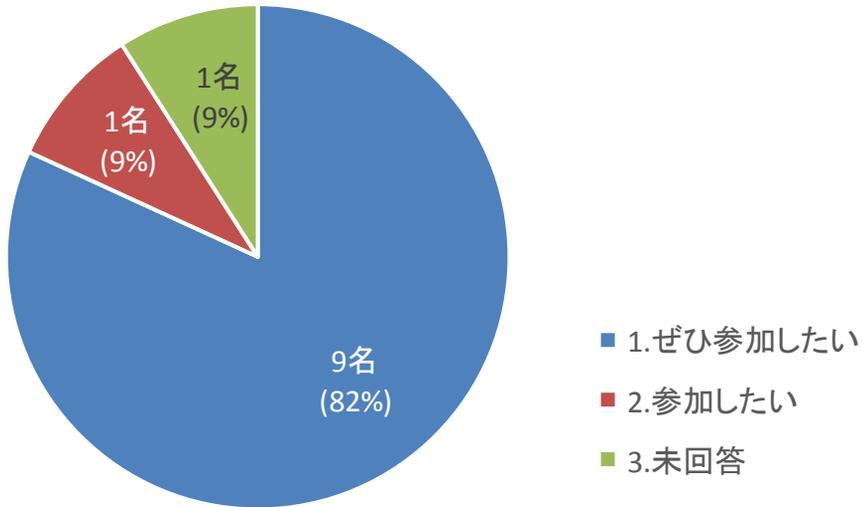
Q.今回の開催をお知りになったきっかけを教えてください。 n=11



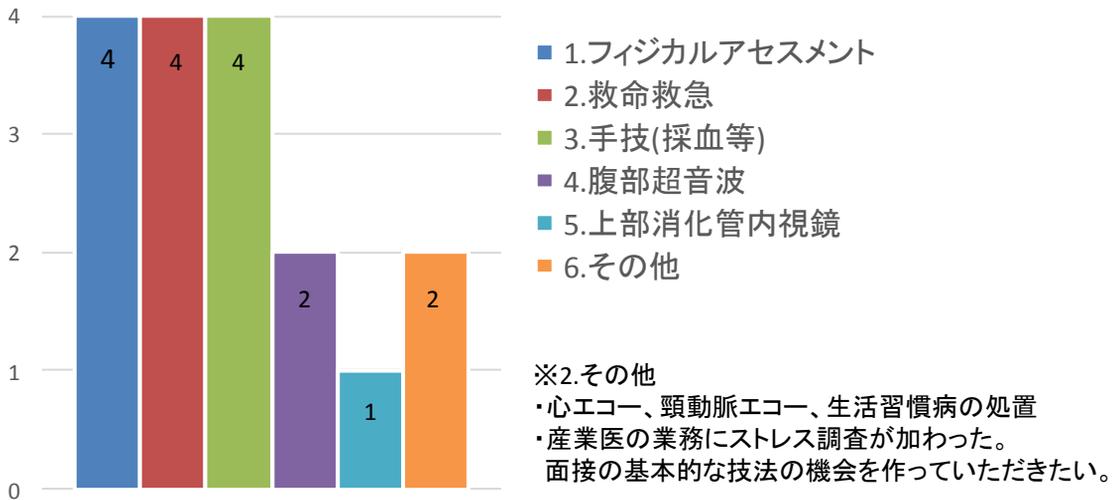
Q.実習に参加しようと思ったきっかけを教えてください。

- ・臨床復帰、全科当直、一般内科への関心。
- ・また臨床に復帰したいと思ったため。
- ・臨床に久しぶりに復帰することになり不安なので。
- ・健診のみを長くしていたため、臨床に復帰しようと思い参加した。
- ・離職してから3年経ち、復職に向けて勉強できたらと思い参加しました。
また託児があるので参加することができました。
- ・自分だけではわかっていないことを認識しにくく、また独力での勉強ができないので。
- ・長らく公衆衛生に携わっており、1年10ヶ月前に臨床に復帰しましたが、頭も身体も衰えており毎日苦労しています。
- ・ブランクがかなり長いので、どんなことでも勉強になると思った。フィジカルアセスメントなど座学では身につかないものを学びたかった。
- ・集団健診の診察時の聴診(心音、呼吸音)のブラッシュアップのためと、エコーの実技を取得したかった。
- ・上部消化管内視鏡の実習を受けてみたかったからです。
- ・ブランクが長すぎた上、皮膚科から内科に転向したため。

Q.今後またこのような実習があったら参加したいと思いますか？ n=11



Q.今後こんな実習をやってほしいというリクエストがございましたら教えてください。(複数回答)



Q.今回の実習で「よかった」と思う点をご記入ください。

- ・全てよかったので特別には挙げられませんが、少人数で実習することができて勉強になりました。初歩的なことをご丁寧に教えていただき助かりました。
- ・主要な領域をカバーする内容で臨床に直結している。
- ・とてもわかりやすく、忘れていたことを思い出すのに役立った。実技時間を十分とってくださりよかった。(その前に座学も入っていて理解しやすかった)
- ・実技があったことです。実際に胃カメラの機械に触れられてよかったです。
- ・実技にウェイトをおいているのが実践的でよかったです。
- ・フィジカルアセスメントの実習ができたこと。認知症薬についてとても明確になったこと。エコーを実際に触れたこと。
- ・フィジカルアセスメントでも、内視鏡・超音波でも、モニターを使用できたことはもちろん、認知症カフェも含めて実際の臨床を関連付け、また実際に直面しうる危険があることについて助言いただき大変有意義でした。
- ・聴診についてコンパクトにわかりやすく講義していただき、練習する時間がたくさんあった点がよかった。認知症についてはもちろんのこと、これから復帰する上で大切な心構えを教えていただけた点もよかった。
- ・認知症や消化器疾患などプライマリケアで必要な情報を教えていただくことができよかったです。
- ・フィジカルアセスメントも聴診も、シミュレータでじっくりやった後に演習でチェックできるところが勉強になりました。認知症診察は病気をみて人を見ない医師になってはいけないと強く感じさせられ、医師としての原点に立ち返りました。
- ・フィジカルアセスメントを時間をかけてできてよかったです。(やっぱり難しいので、もっとやりたいですが)



Q.今回参加された感想をご記入ください。

- ・今まで(恐らく社会人になって以来)で一番丁寧でわかりやすい実習でした。本当に勉強になりました。心より御礼申し上げます。
- ・リラックスした環境で、中身の濃い実習ができて大変有効でした。
- ・体調不良でしたが、どうしても参加したいと思い参加した。とても実りある実習でした。ぜひまた参加させてください。
- ・フィジカルアセスメントを学習することができてよかったです。認知症について正しい知識を持つことができてよかったです。
- ・少し外来に復帰する勇気がわいてきました。自分にできることを少しずつ始めたいと思います。
- ・余裕のあるプログラムで、受講しやすかったです。
- ・参加されている方たちが、それぞれに家庭やお仕事で頑張っていて、そのことが励みになりました。4月からの再スタートに今日学んだことを活かしていきたいと思います。
- ・また参加させていただきたいです。
- ・専門医の先生のお話がとても参考になりました。今後の診療に活かしていきたいと思います。
- ・どの実習も大変すばらしく、今日は本当に大変勉強になりました。参加できたことをこれからの診療に活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・このような機会がなければできないことが色々あったので、少し自信ができました。また次も是非、参加させていただきたいと思います。色々な方との交流も楽しかったです。

★ 講師紹介 ★

腹痛の初期診断「上部消化管内視鏡&エコー」

中村真一先生(消化器内視鏡科 教授)



フィジカルアセスメント ～呼吸器/循環器編～

小川哲也先生(東医療センター内科 准教授、女性医師再研修部門副部門長)



『どう診る「認知症診療の極意」』～カフェ形式で～

松村美由紀先生(成人医学センター講師)

